



週間情報



No.3106

発行日 平成31年2月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人 全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

平成31年2月4日（月）、東京都（アルカディア市ヶ谷）において、全国消防長会常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議事項及び報告事項等については次のとおりです。

【議案審議事項】

- 1 平成30年度収支予算の補正（案）について
- 2 平成31年度事業計画（案）及び平成31年度収支予算概算（案）について
- 3 消防防災ヘリコプターの安全運航体制に関する要望について
- 4 平成31年度及び平成32年度事業推進委員会委員長の選任について
- 5 次期常任理事会の開催について

【報告事項】

- 1 平成30年度中における要望活動について
- 2 建築基準法改正に係る要望に対する国土交通省の対応状況について

【資料配付】

- 1 法制執務研修会及び広報事務担当者研修会について
- 2 全国消防長会情報管理システムの更新等について
- 3 新採用職員に対する消防団体保険への加入促進について



【常任理事会の様子】

◆ 一般財団法人 全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

一般財団法人 全国消防協会

平成31年2月4日（月）、東京都（アルカディア市ヶ谷）において、通常理事会及び臨時評議員会を開催しました。

通常理事会及び臨時評議員会における議案審議事項及び報告事項等については次のとおりです。

○ 通常理事会

【議案審議事項】

- 1 平成30年度収支予算の補正（案）について
- 2 平成31年度事業計画（案）及び平成31年度収支予算（案）について
- 3 臨時評議員会の開催について
- 4 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 職務の執行状況の報告について
- 2 臨時理事会の開催について
- 3 平成31年度全国優良消防職員表彰式及び第48回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 機関誌「ほのお」の一部改編について
- 5 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の応募状況等について
- 6 消防業務賠償責任保険への「ドローン機体補償」の新規導入について

【配布資料】

新採用職員に対する消防団体保険への加入促進について

○ 臨時評議員会

【議案審議事項】

- 1 平成30年度収支予算の補正（案）について
- 2 平成31年度事業計画（案）及び平成31年度収支予算（案）について

【報告事項】

- 1 臨時評議員会の開催について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 平成31年度全国優良消防職員表彰式及び第48回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 機関誌「ほのお」の一部改編について
- 5 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の応募状況等について
- 6 消防業務賠償責任保険への「ドローン機体補償」の新規導入について

【配布資料】

新採用職員に対する消防団体保険への加入促進について



【通常理事会の様子】



【臨時評議員会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 文化財防火デーに伴う消防局長特別査察を実施

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、平成31年1月23日（水）、大本山石山寺において、消防局長による特別査察を実施しました。

この特別査察は、1月26日（土）の文化財防火デーを含めた1月23日（水）から29日（火）までを文化財防火運動と定め、その初日に実施したもので、重要文化財に指定された石山寺の本堂・多宝塔の一般参拝客の出入りする部分、有事の際に避難経路となる部分における消防用設備等の維持管理、避難計画・火気管理の状況等を確認し、施設関係者の防火・防災体制の充実強化を図るとともに、市民の文化財に対する防火意識の高揚を図りました。



【消防局長による特別査察の様子】

◆ 第2回島根県消防駅伝競走大会を開催

浜田市消防本部（島根）

浜田市消防本部が会長を務める島根県消防駅伝実行委員会（副会長：松江市消防本部、事務局：出雲市消防本部）では、平成31年2月3日（日）、出雲市浜山公園において、第2回島根県消防駅伝競走大会を開催しました。

この大会は、「消防」の存在感、火災予防のPR、防火意識の向上及び緊急時に備えた職員同士の顔の見える関係作りを目的に、昨年年第1回大会に続き、5区間12キロのコースに、県内全ての消防本部、県消防学校及びオープン参加として鳥取県西部広域行政組合消防局の総勢23チームが参加し、大盛況の大会となりました。

消防本部対抗の部では、出雲市消防本部が優勝、雲南消防本部が第2位、松江市消防本部が第3位となり、消防署所別対抗の部では、益田広域消防署が優勝、浜田消防署が第2位、雲南消防署が第3位に輝きました。



【大会の様子】



【記念集合写真】

訓練・演習

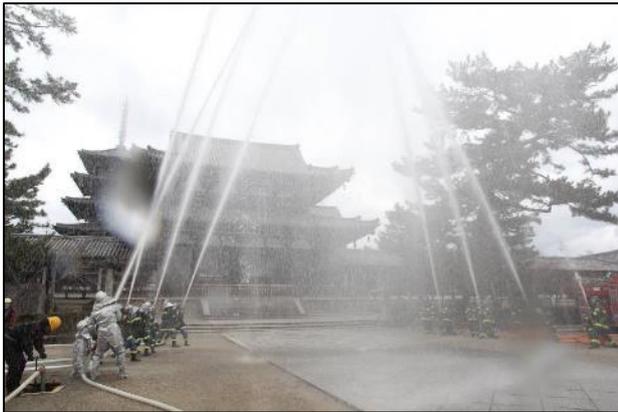
◆ 「第65回文化財防火デー」に伴う総合消防訓練を実施

奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部では、平成31年1月26日（土）、生駒郡斑鳩町の法隆寺において、「第65回文化財防火デー」に伴う総合消防訓練を行いました。

この訓練は、文化財防火デー制定の契機となった昭和24年の法隆寺金堂の焼失を教訓に、西和消防署、斑鳩町消防団及び法隆寺自衛消防団が合同で、法隆寺の貴重な文化財を火災等の災害から守り、後世に引き継ぐとともに、文化財関係者の自主防災体制の強化及び文化財愛護の高揚を図ることを目的に行っています。

また、この日は、法隆寺金堂焼失から70年目の日でもあり、宮田文化庁長官、菅原消防庁審議官、中西斑鳩町長の他、県内の文化財担当者が法隆寺を視察され、訓練後宮田文化庁長官より「先人の残した素晴らしい遺産を後世に伝えるため、引き続き、防火・防災への取り組みをお願いしたい。」との激励の言葉をいただきました。



【法隆寺中門前での放水訓練の様子】



【北岡副管理者の訓練講評】

◆ 文化財防火デー消防訓練を実施

瀬戸市消防本部（愛知）

瀬戸市消防本部では、平成31年1月20日（日）、瀬戸市深川神社において、文化財防火デー消防訓練を実施しました。

神社境内で火災が発生したことを想定し、深川神社関係者及び隣接する瀬戸パークホテル関係者により119番通報、初期消火及び文化財の搬出がされた後、避難者から急病人が発生した想定でAEDを使用した救命処置を行い、最後は消防署・消防団による一斉放水を実施しました。

訓練参加者は、あらかじめ定められた消防計画に基づき連携して活動を行い、災害発生時の行動要領の再確認をしました。



【施設関係者による初期消火の様子】



【消防署・消防団による一斉放水の様子】

◆ 第65回文化財防火デー消防訓練を実施

伊万里・有田消防本部（佐賀）

伊万里・有田消防本部では、平成31年1月27日（日）、旧田代家西洋館において、文化財の保護を目的とした消防訓練を実施しました。

この施設は、製磁町有田の明治初頭の繁栄を伝える外国人接待施設で、有田を代表する貿易商の田代家が、外国人の接待や宿泊のため、明治9年に建築したものです。住宅系の擬洋風建築の貴重な現存例として、平成30年12月に国の重要文化財に指定されました。

訓練では、関係者による初期消火訓練や通報訓練のほか、管轄する有田消防署と地元消防団が連携して消防訓練を実施し、地域の防火・防災意識の高揚及び連携強化を図りました。

有田町には、歴史的・学術的価値の高い文化財が多く存在するため、今後も文化財防火デーの機会を捉え、貴重な財産の保護に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 交通救助対応訓練を実施

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、平成31年1月23日（水）及び、27日（日）の2日間、消防署南分署において、交通救助対応訓練を実施しました。

この訓練は、車両事故災害対応に必要な車両破壊の基本技術の向上を図るとともに、事故対応時における迅速かつ効果的な破壊技術を習熟することを目的として行いました。

現場経験の少ない若手職員を中心に、廃棄車両を使用した実戦さながらの訓練を行い、現場活動に直結する充実した訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 小樽海上保安部との船舶火災合同訓練を実施

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部及び小樽海上保安部では、平成31年1月28日（月）、同保安部所属の巡視船「えさん」を訓練会場として、両機関合わせて35名の隊員が参加し、合同訓練を実施しました。

この訓練は、昨年8月の業務協定見直しを受け、改めて相互の連携・協力体制の構築を図ることを目的に、巡視船「えさん」を参考として船体の構造をはじめ、消火設備等の説明を受けた後、消火・船内検索・救出訓練を行い、狭隘な船内での活動が困難であることを改めて認識しました。両機関共に、顔の見える関係及び協力体制を築く貴重な機会となりました。



【訓練の様子】

◆ 緊急消防援助隊埼玉県第1ブロック合同訓練を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、平成31年1月29日（火）、戸田市の彩湖道満グリーンパークにおいて、緊急消防援助隊派遣を想定した訓練を実施しました。

当訓練には、埼玉県第1ブロック消防本部（局）である、さいたま市消防局、蕨市消防本部、上尾市消防本部、戸田市消防本部、埼玉県央広域消防本部、伊奈町消防本部及び当消防局の7消防本部（局）と、埼玉県防災航空隊ヘリコプター1機が参加しました。

訓練は、緊急消防援助隊派遣を想定した部隊移動訓練から開始し、防災航空隊ヘリコプターへの送水訓練を含めた空中消火訓練及び宿営場所の設営や給食等の後方支援活動訓練を実施しました。

訓練当日は、強い風が吹きつけ、悪条件での訓練となりましたが、参加部隊が協力して効果的な訓練を実施し、各関係機関の更なる連携強化を図ることが出来ました。



【訓練の様子】



【訓練参加部隊の記念集合写真】

◆ 上信越自動車道事故対応合同訓練を実施

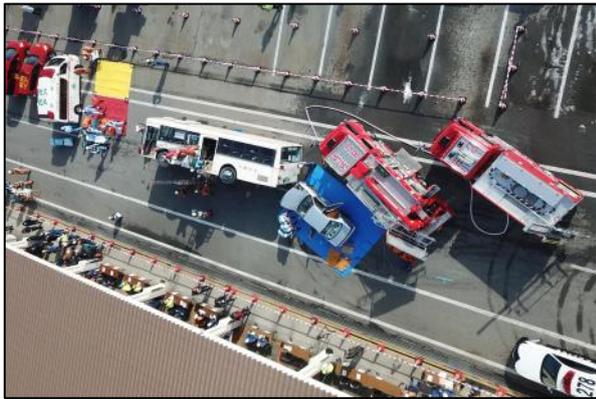
佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、平成31年1月31日（木）、NEXCO東日本関東支社佐久管理事務所との共催により、同事務所の訓練ヤード内において、高速道路上における事故対応を想定した合同訓練を実施しました。

当訓練は、平成28年に軽井沢町で発生したバス横転事故を基に、同様の事故等における活動要領等を再度検証して課題を抽出するとともに、関係機関との連携を更に強化することを目的に実施しました。

横転した観光バスに後続車両が追突した交通事故において、多数の傷病者が発生しているとの想定で訓練を実施し、今年度新設した専任指揮隊を中心とした部隊統制、合同指揮所の運営、事故車両からの救出活動、多数傷病者に対する救護活動、協定バス業者による軽症者の搬送、大型レッカーによる事故車両の撤去等を行いました。

今後も、あらゆる災害に備え、災害対応能力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

研修等

◆ 健康管理講習会を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（千葉）

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では、平成31年1月17日（木）及び18日（金）の2日間、当消防本部講堂において、佐倉市健康こども部健康管理課より講師を招き、健康管理講習会を開催しました。

講習会の中で、生活習慣病とその予防については、メタボリックシンドロームを防ぐための自分の必要なエネルギー量、1日に必要な摂取カロリーの計算方法、食事のポイント等を講義していただきました。

また、たばこ健康については、2020年に施行される健康増進法の改正に触れるとともに、測定器で呼気中の一酸化炭素の濃度を測定して、喫煙者と非喫煙者の違いをわかりやすく説明していただき、職員も興味深く聴講し、健康管理に対する意識の向上を図ることができました。



【講習会の様子】

◆ 救急講演会を開催

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、平成31年1月21日（月）、刈谷市の刈谷市総合文化センターにおいて、救急講演会を開催しました。

当研修会は、高度救命救急センター・基幹災害拠点病院兵庫県災害医療センターより、センター長の中山伸一医師を招き、「わが国における災害医療の進歩と課題」～消防と医療の強固な連携実現に向けて～と題し、ご講演いただきました。

当日は、当消防局だけでなく、管内の災害拠点病院を含む医療機関及び他の消防本部を含め127名が参加しました。

消防機関及び医療機関共に、ハードウェア・ソフトウェアの両面から、災害に対して備えるべき体制を構築し、多数傷病者発生時の対応を考える大変貴重な機会となりました。



【講習会の様子】

◆ 消防団を中心とした防災研修会を開催

豊川市消防本部（愛知）

豊川市消防本部及び豊川市消防団では、平成31年1月22日（火）、豊川市勤労福祉会館において、熊本県危機管理防災企画監の有浦隆氏を招き、「熊本地震等から学ぶ、災害に対する覚悟と準備」と題して、消防団を中心とした研修会を開催しました。

この研修会は、消防団長を始めとする消防団員93名の他、消防職員を含めた市職員、市内防災組織、近隣市の消防関係者等、計152名が参加しました。

研修では、防災とは何か、また、防災対応での失敗は命にかかわることを学び、災害に対する意識を再確認することができ、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

◆ 石けん系消火剤に関する研修に参加

北九州市消防局（福岡）

北九州市消防局は、平成31年2月1日（金）、北九州市立大学において開催された、同大学災害対策技術研究センター主催の石けん系消火剤に関する研修に参加しました。

当研修には、当消防局職員の外、近隣の消防本部から計5本部9人の職員も参加しました。

研修では、シャボン玉石けん株式会社、北九州市立大学及び当消防局との産学官で共同開発した「石けん系消火剤」の有効性や、環境に対する負荷低減についての講義、株式会社モリタ福岡支店による泡放水に関する講義と実際に消防車（CAFS車）を使ったデモンストレーション及び石けん系消火剤の製造工場視察が行われました。

当研修を通し、石けん系消火剤について理解を深めることができ、貴重な機会となりました。

今後も、石けん系消火剤を有効活用し、安全、確実かつ迅速な少水量環境配慮型の消火活動を実践し、火災による被害の軽減に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 職員研修会（人権研修・安全衛生委員会研修）を開催

湖北地域消防本部（滋賀）

湖北地域消防本部では、平成31年2月4日（月）及び5日（火）の2日間、当消防本部会議室において、職員研修会（人権研修・安全衛生委員会研修）を開催しました。

人権研修では、米原市教育委員会事務局生涯学習課の2名の職員を講師に招き、「ワークショップで学ぶ障害者差別解消法」をテーマに学びました。障害者差別解消法は、障害のある方に対して合理的配慮を行うことにより、共に生きる社会を目指すもので、DVDなどを用いてわかりやすく説明していただきました。

安全衛生委員会研修では、一般財団法人滋賀保健センターの職員の方を講師に招き、椅子を使用したストレッチ体操を教えてくださいました。身近なものを使用してリフレッシュできる体操は、日常的に行えると好評でした。

両研修には、201名の職員が参加し、とても有意義な研修となりました。



【人権研修の様子】



【安全衛生委員会研修でのストレッチ体操】

その他

◆ 消防協力者への感謝状贈呈式を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、平成31年1月31日（木）、埼玉県立草加高等学校において、消防協力者への感謝状贈呈式を実施しました。

被贈呈者である草加高校の学生、徳竹翔也氏（写真右）及び小岩井翔太氏（写真中央）は、平成31年1月5日（土）、草加市内で発生した救急事案に際し、適切な救命処置等を行ったことにより、傷病者の救命に対して多大な貢献をされ、この度、消防局長より感謝状を贈呈したものです。

当消防局では、今後も、消防・救急活動に協力し、その功績が顕著な方に対して感謝状を贈呈することにより、住民の防災意識の高揚を図ってまいります。



【贈呈式後の記念写真】

◆ 関係機関と連携したAED活用アプリ（AED GO）の実証実験を開始

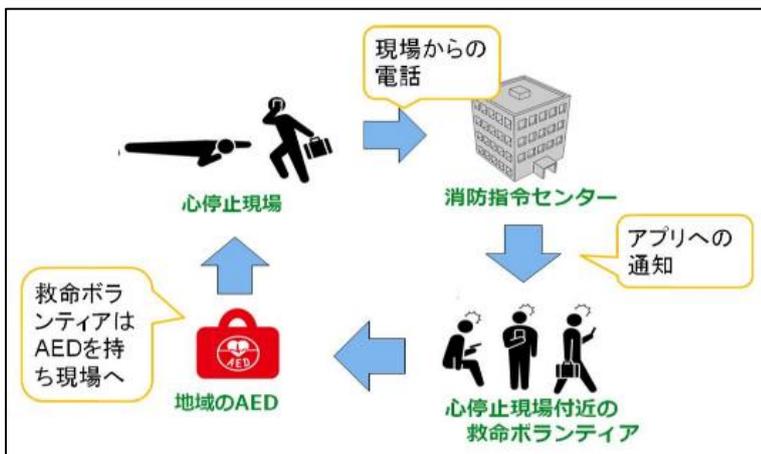
柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、京都大学、株式会社ドーン及び日本AED財団と、AEDの活用促進を目的とした連携協力を開始し、平成30年12月1日からスマートフォンアプリを使用した実証実験を行っています。

この取り組みは、市内に整備した約400台のAEDと、AEDを運搬できるボランティア、AEDを必要とする救急現場について、スマートフォンアプリ（AED GO）でマッチングし、救急隊よりも早くAEDが使用される件数を増加させ、救命率の向上を目指すものです。

過去3年間のうち、柏市内で発生した心停止は、1,102件、AEDが使用されたのはわずか12件となり、救急隊到着前にAEDが使用されたケースは、12件中7件（救命率は58%）でした。

平成31年1月15日（火）からは、ボランティアの登録を柏市内の救命講習を受講した市民にも拡大し、AED使用率の更なる向上を図ってまいります。



【AED GO取り組みのイメージ】



【スマホ画面での操作イメージ】

消防庁通知等

◆ **平成31年度消防庁広報施策テーマについて**

(事務連絡、平成31年2月1日)

消防庁総務課から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から、消防防災関係の広報につきまして、格別の御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当庁では、毎年度広報施策テーマを定め、記者発表や下記(省略)の媒体の活用により、広く国民に対し広報活動を実施しております。

つきましては、別添(省略)のとおり、平成31年度消防庁広報施策テーマを作成しましたので、各団体におかれましては、当該広報施策テーマを参考にしていただき、地域の実情に応じて、積極的な広報活動を推進されますようお願いいたします。

また、各都道府県消防防災主管部(局)におかれましては、貴都道府県内の市町村に対し、その旨周知いただきますよう併せてお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3102/pdf/310201_jimurenaku.pdf) に掲載されています。

【担 当】

消防庁総務課広報係
高橋、吉田
TEL : 03(5253)7521
FAX : 03(5253)7531

◆ **平成31年度の消防防災に関する普通交付税措置(案)の概要について**

(事務連絡、平成31年2月8日)

消防庁消防・救急課から各都道府県消防・防災主管部局、各指定都市消防・防災主管部局あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

本日、地方交付税法等の一部を改正する法律案が閣議決定されたところですが、本法律案における消防防災関係分の概要については、別紙(省略)のとおりとなっておりますので了知願います。

なお、貴都道府県内の市町村(特別区並びに消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。)に対してもこの旨を周知願います。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3102/pdf/310208_jimurenaku.pdf) に掲載されています。

◆ **火災気象通報の運用の見直しについて**

(消防消第34号、気業第197号、平成31年2月8日)

消防庁消防・救急課長、気象庁予報部業務課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長、各管区气象台総務部長、沖縄气象台次長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

火災予防上危険な気象状況となった際の火災気象通報については、消防法第22条において規定し、運用を行っているところです。

平成28年12月に発生した糸魚川市大規模火災を踏まえた検討会では、強風により延焼拡大し、被害が甚大となったことから、気象状況に伴う火災の危険性を住民へ広報することや消防体制の確保、気象現象の広がりや踏まえた通報区分の細分化について意見や提言が示されました。

こうした状況を踏まえ、消防庁では、気象庁、全国消防長会、県及び消防本部で構成したワーキンググループを設置し、気象に関する情報をより有効に消防活動に活用するための検討を行っ

てきました。

この検討結果（別紙省略）を踏まえ、下記（省略）のとおり火災気象通報の運用の見直しを行うこととしましたので通知します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi3102/pdf/310208_syo34_kigyol97.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁消防・救急課 仙波補佐、喜多事務官

電 話：03-5253-7522

気象庁予報部業務課 宮川係長

電 話：03-3212-8341（内線 3108）

報道発表

◆ 平成30年度全国消防団員意見発表会、消防団等地域活動表彰式、防災功労者消防庁長官表彰式及び消防庁消防団協力事業所表示証交付式の開催及び受賞団体等の決定

（平成31年2月4日、消防庁）

消防庁では、平成30年度全国消防団員意見発表会の発表者並びに平成30年度の消防団等地域活動表彰及び防災功労者消防庁長官表彰の各表彰団体、及び平成30年度の消防庁消防団協力事業所表示証の交付団体を決定しました。

また、平成31年2月10日（日）に、下記（省略）の要領により、平成30年度全国消防団員意見発表会、消防団等地域活動表彰式、防災功労者消防庁長官表彰式及び消防庁消防団協力事業所表示証交付式を開催します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h31/02/310204_houdou_1.pdf) に掲載されています。

（連絡先）消防庁国民保護・防災部地域防災室

担 当：加藤理事官、川野事務官

電 話：03-5253-7561（直通）

ファクシミリ：03-5253-7576

電子メール：syobodan@m1.soumu.go.jp

◆ 「平成30年版消防白書」の公表

（平成31年2月8日、消防庁）

消防白書は、国民の生命、身体及び財産を災害等から守る消防防災活動について紹介するものであり、毎年刊行しています。

平成30年版消防白書では、特集において、最近発生した災害を踏まえた対応のほか、消防防災ヘリコプターの安全運航体制の強化や、消防の広域化の推進、消防団を中核とした地域防災力の充実強化、女性消防吏員の更なる活躍の推進、消防用機器等の海外展開等について記載しています。

なお、消防白書は、[消防庁のホームページ](#)に掲載します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h31/02/310208_houdou_1.pdf) に掲載されています。

消防庁総務課 南里課長補佐

田中企画係長

TEL：03-5253-7506

FAX：03-5253-7531

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人 全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、下記の投稿記事を募集しています。

① 知識・技術の伝承-教えて！消防技術-

② 女性職員の活躍・推進

※①・②の執筆要領等の詳細は、週間情報No.3032又は機関誌「ほのお」2018年9号（9/25発刊）参照願います。

③ 消防ワイド

※150文字程度（160文字以内）の原稿及びJPEG画像データ

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。ご投稿お待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

TEL：03-3234-1321（機関誌「ほのお」担当：企画課 原）

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・ 配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・ 文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・ 写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・ 掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321（「週間情報」担当：企画課 石井）